

募集締切：2020年9月30日必着

2020年度 放射線教材コンテスト
応募要領

2020年7月

日本科学技術振興財団

1. 開催概要

(1) 目的、対象、募集内容

放射線教育の推進を目的として、日本科学技術振興財団では2020年度放射線教材コンテスト（以下、本コンテストという。）以下の通り開催する。

【目的】

- ・学校等における放射線教育の普及啓発
- ・放射線に関する正確な知識理解、普及啓発

【対象】

以下の2条件を満たす大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校等の学生（以下、「大学生等」という。）の個人または数名のチーム

- ・放射線（教育）について学んでいること
- ・本コンテストの応募に際して、指導教員による指導が受けられること

【募集内容】

- ・児童生徒への教育効果が特に高いと思われる教材
- ・学校現場でひろく活用できる放射線の世界を模擬した教材
- ・目的、対象、内容等が明確である教材
- ・身近な材料を活用した教材
- ・先行研究のある実験道具（または市販品）を使用しながらも、模擬方法に新規性がある教材

(2) 主催、協力、後援

主催：公益財団法人日本科学技術振興財団

協力：ディスカバリー・ジャパン合同会社

後援（予定）：復興庁、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会

(3) 実行委員会

実行委員長：鈴木 崇彦 帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科 教授

実行委員：石川 哲夫 医療創生大学 教養学部 特任教授

大谷 浩樹 帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科 教授

加藤 真介 横浜薬科大学 薬学部 放射線科学講座 教授

清原 洋一 秀明大学 学校教師学部 教授

佐々木 徹 北里大学 医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻 准教授

関根 紀夫 東京都立大学 健康福祉学部 放射線学科 准教授

(4) スケジュール

| | |
|-----------|---------|
| 9/30 (水) | 募集締切 |
| 10月中旬 | 入選作品発表※ |
| 12月中旬 | 受賞作品発表 |
| 12/27 (日) | 表彰式 |

※入選者には11/30までに受賞作品選考で用いる作品、模擬実演動画データを提出いただきます。
(詳細については、別途、入選者にご連絡させていただきます。)

2. 応募内容・方法

(1) 応募内容

児童・生徒が放射線について学ぶための教育ツールやカリキュラム等の教材と、その作品を用いた演示内容を応募するものとする。

演示については、1回あたり10分程度のブース実演ができるものとする。

(2) 教材の例

- ・学校で誰でも簡単に実施できる新たな教材
- ・絵本、物語、図表、模型、ボードゲーム、映像等
- ・無料配布されているプログラム、フリー素材等を使った教材
- ・霧箱、放射線測定器等の既存実験道具を利用した新たな、小・中・高等学校等におけるカリキュラム、学習指導案など
- ・eラーニング、ワークシート、ドリル等を活用した新たな説明方法

(3) 応募資格

応募に際しての資格要件は、以下の通りである。

- ・放射線分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の個人または数名のチーム(所属学部や学科、専攻の名称に必ずしも「放射線」が含まれる必要はない。)
- ・放射線について小・中・高等学校の児童・生徒に伝えたい内容と、その内容を対象者に伝えるためのアイデアを有していること(現時点で教材が完成している必要はない。)
- ・本コンテストの応募に際して、指導教員による指導が受けられること
- ・表彰式(実演発表も含む)に参加できること
- ・応募した教材の教育現場等での活用について、同意する意思があること(教育現場等での活用については、5. 教材の公開を参照のこと)

(4) 応募方法および提出物(締切日: 2020年9月30日)

下記のものを電子メール(提出先メールアドレス: radi-info@jsf.or.jp)に添付して提出すること。

- ・エントリーシート
- ・予稿A4(指定のフォーマット)1枚

<以下は、一次選考を通過した入選者のみ>

(5) 受賞作品選考資料（受賞作品選考に際して用いられるもの）

- ・ 作品（児童・生徒が放射線について学ぶための教育ツールやカリキュラム等の教材）
- ・ 模擬実演の動画データ

(6) 受賞作品選考の準備

受賞作品選考の準備に際して、材料購入費用を、領収書精算により最大1万円支給する。

3. 表彰

以下の賞を決定し、表彰式において授与する。

| 賞 | | 件数 | 賞状 | 副賞（商品券） |
|------|--------------------|----|-------------|---------|
| 最優秀賞 | | 2 | 応募代表者・協同応募者 | 3万円相当 |
| 優秀賞 | | 若干 | 応募代表者・協同応募者 | 1万円相当 |
| 特別賞 | ディスカバリー・ジャパン特別賞 | 1 | 応募代表者・協同応募者 | 1万円相当 |
| | 全国中学校理科教育研究会特別賞 | 1 | 応募代表者・協同応募者 | 1万円相当 |
| | 日本理化学協会特別賞 | 1 | 応募代表者・協同応募者 | 1万円相当 |
| | 放射線教育支援サイト“らでい”特別賞 | 1 | 応募代表者・協同応募者 | 1万円相当 |

※特別賞は、最優秀賞、優秀賞とは別途選考され、他の賞と重複して授与される場合がある。

4. 表彰式

日程：2020年12月27日（日）

方法：（オンラインの場合）WEB会議システム

（オフラインの場合）科学技術館（東京都千代田区北の丸公園2番1号）

スケジュール： ①実演発表 13:00～15:30

②表彰式 16:00～17:00

※新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、文化的催しについて、国や自治体等による制限や自粛要請等がない場合は、オフラインでの開催に変更する。開催方法については、12月1日（火）までに基本的な方針を示し、12月12日（土）時点での状況によって最終判断するものとする。

※オフラインでの開催となった場合は、表彰式の参加に際して、各グループ最大2名の応募者と、引率する指導教員1名の交通費、宿泊費を当財団の規定に基づき支給する。（応募者負担による参加人数の制限は設けない。）

5. 教材の公開

- ・ 応募した教材が入選した場合、その教材、予稿、動画データ（模擬実演）について応募者は、著作権（財産権）、著作者人格権を行使しないものとする。
- ・ 応募した教材が入選した場合、その教材、予稿、動画データ（模擬実演）については、放射線教育支援サイト“らでい”（<http://www.radi-edu.jp/>）において公開する。
- ・ 本コンテストは、放射線教育普及に寄与することを目的としている。入選した場合、教材、予稿、動画データ（模擬実演）の内容は、予稿の引用に基づき、教育現場等で広く活用される場合がある。
- ・ 応募した教材が入選し、応募者（応募代表者及び協応応募者）がその産業財産権について保護したいと考えた場合には、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等について、応募者自らが審査会までに手続きを済ませた上で、事務局にその旨を連絡するものとする。
- ・ 応募教材を第三者が活用する際の引用方法は、以下の通り、教材名、教材作成者、作成年、URL を明記するものとする。

例： 「放射線の〇〇に関する教材」（財団太郎, 2020）

<https://www.radi-edu.jp/contest>

6. 問い合わせ先

公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部 放射線教材コンテスト事務局

e-mail: radi-info@jsf.or.jp

電話：03-3212-8504

以上